

《シンガポール・リーダーシップ研修 4 日目報告書》

研修4日目となりました。本日は少し遅めのスタートとなり、寮内にてインタビューアクティビティをサポートして下さる学生とミートし、アイスブレイクを行った後、アラブストリートへ向かいました。ラマダンの時期であったため、いたるところにラマダンに関係する張り紙や屋台、人生で初めて目にするモスクと、目に映るもののほとんどが新鮮であったようです。お店の方や道行くご夫婦等にシンガポールで生活をして疑問に思ったことや、現地での生活について堂々と質問を投げかけ知識を深めていました。

その後はチャイナタウンへ移動し、ショッピングと昼食の時間をとりました。約2時間のフリータイムの中で、有名なかき氷、インドカレーを食べたり、シンガポールブランドのチョコレートをお土産で購入したり、中には人生初のドリアンに挑戦する生徒さんもいました。

午後は、Marina Barrage (シンガポールのダム)、ガーデンズバイザベイ、シンガポール国立博物館、マリーナベイサンズ、シンガポールの企業 One & Co 訪問と盛りだくさんでした。Marina Barrage はシンガポールが国を挙げて作り上げた施設です。シンガポールは資源がない国であり、特に水の問題は深刻です。現在マレーシアからの輸入に頼っている部分がありますが、脱却すべく、いくつかの貯水池を作り、下水を飲料水レベルまで超高度処理した再生水を利用し、海水を脱塩して淡水化することを計画しています。Marina Barrage は上記の機能を有し、さらに国を洪水から守る働きも担い、環境問題も楽しく学ぶことができる新しいレクリエーション施設となっています。英語でのガイドとなりましたが、ここまで学んできた生徒さんにとっては簡単に理解できたようです。また、この施設の見学で、シンガポールの人々は資源がないからこそ、50年100年先の未来を予測し、動くことができている。資源は人そのものだと気づく生徒さんもいました。

シンガポール国立博物館では、シンガポールの歴史を学びました。何も無いジャングルだった土地からどのように今の立ち位置を築いていったのか。シンガポールの歴史の中に日本も大きく絡んでいたが、光と影の部分が合ったことが印象的だったようです。日本の歴史の授業で学ぶことと、世界から見た日本は見方が違うことが多々あります。今回は双方の考えや立場を知ること、多様性や相手を尊重するマインドが醸成され、さらに真のグローバル人材に近づくことができたのではないかと感じました。

One & Co ではジェネラルマネージャーの伊藤様にご案内いただきました。社内見学の後、会議室で“ご自身が手掛けている JR 東日本の事業や、世界展開することの難しさ、東南アジアとどうかかわっていくのか”ということ、短い時間の中でも非常に内容の濃い講演をしていただきました。生徒はここまでの下積みも有効活用し、日本企業との違いや、企業の収益化や世界で働くということ、社会の仕組みを深く理解していました。

インタビューアクティビティ



インドカレーを食べる男子生徒さん



Marina Barrage にて



ガーデンズバイザベイ散策



博物館での歴史の勉強



マリーナベイサンズでの買い物



One & Co 見学



まさかのシンガポールで学校の避難訓練参加

